

第17回相模湾ヨットフェスティバルレース

17th S Y F 2014



帆 走 指 示 書

2014年8月20日

主催：(公財) 日本セーリング連盟 加盟団体 JSAF 外洋三崎

運営： 相模湾ヨットフェスティバルレース 2014 実行委員会

1. 責任の所在

- 1-1 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。
- 1-2 本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡による責任を負わない。
- 1-3 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で十分な耐航性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させるよう万全を尽くさなければならない。
- 1-4 オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよびその他全ての備品を確実に装備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所を全ての乗組員に熟知させておかなければならない。
- 1-5 レースに参加するかまたはレースを続けるかについての決定の責任は、その艇にのみある。
- 1-6 オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底しておく必要がある。
- 1-7 レース委員会は不相当と認めた艇、及び艇長・乗員の参加を拒否することができる。

2. 適用規則

- 2-1 国際セーリング規則 2013-2016 (RRS) に定義された規則を適用する。
- 2-2 ORC Rating Systems 2014 & International Measurement System 2014 を適用。
但し、RRS・87 に基づき、ORCAN 通達 (2014 年 ORC レースにおけるクルー重量に関する取扱いについて) により、ORC Rating Systems 2014 の 200 は適用しない。
従って、体重の制限はない。
但し、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。
・ ORC Rule 201. 2 を変更し、搭載する飲料物・燃料の量を制限しない。
- 2-3 IRC 規則 2014 Part A、B および C を適用。
但し、Notice of Race に明記したように RRS・87 に基づき、IRC 規則 2014 の 22. 4. 2 は適用しない。従って、体重の制限はない。
但し、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。
- 2-4 第17回相模湾ヨットフェスティバルレース、レース公示。
- 2-5 第17回相模湾ヨットフェスティバルレース、帆走指示書。
- 2-6 JSAF 外洋特別規定 カテゴリ-5 (推奨)。

3. 付則

- 3-1 オープン部門の体重制限はない。
但し、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。
- 3-2 ライフジャケットはチェックイン時よりレース終了時まで着用を義務付ける。
なお、委員会としては出港から帰港までの間、着用を強く推奨する。
- 3-3 乗員数が、船舶検査証書に記載された最大搭載人員を超えた艇は失格とする。
- 3-4 自艇セールナンバー以外のセールを使用してはならない。

4. レース旗

- 4-1 ORC-C部門 ・IRC部門 : JSAFバージ
- 4-2 J-24部門 ・オープン部門 : 部門識別旗(リボン)をレース旗とする。
- 4-3 参加艇は必ずレース旗を、チェックイン時からフィニッシュ又はリタイアするまでデッキより1.5m以上の高さになるようにバックステイに掲揚すること。
バックステイの存在しない艇は、同等と思われる位置に掲揚すること。

5. 部門識別旗(リボン)

- 5-1 ORC-C部門 : イエローのリボン
- IRC部門 : ホワイトのリボン
- J-24 部門 : グリーンのリボン
- オープン部門 : ピンクのリボン
- 5-2 部門識別旗(リボン)はレース旗下部直近に掲揚すること。

6. レース開催日

2014年8月31日(日)

7. レースコース

- 7-1 スタート⇒第1マーク⇒第2マーク⇒フィニッシュ
スタート位置 : 相模湾網代崎沖灯浮標(通称:赤白ブイ) 付近
第1マーク 位置 : 長者ヶ崎沖 北緯 35 度 14 分、東経 139 度 34 分 付近
第2マーク 位置 : 長井漁港沖 北緯 35 度 12 分、東経 139 度 32 分 付近
フィニッシュ位置 : 相模湾網代崎沖灯浮標(通称:赤白ブイ) 付近
 - 7-2 全てのマークは黄色円柱型ブイで、ポートサイドに見て反時計回りに回航すること。
 - 7-3 マーク位置はおおよその位置であり、実存位置とのずれによる救済の要求は受付けない。
 - 7-4 亀城礁東側を航行してはならない。
-

8. スタート

8-1 チェックイン

参加艇は、09:40までにL旗を掲揚した本部艇後方から本部艇をスターボードに見て機帆走で通過し、セールナンバーを掲示し、艇名・乗員数を告げ、個人用ライフジャケット着用の確認を受けること。

チェックインは参加艇とレース委員会側との安全確保のための、重要確認事項であるため、チェックインを履行しない艇は、抗議されペナルティを課されることがある。

8-2 スタート予告信号

- ・ORC-C部門、IRC部門、J-24部門 09:55
- ・オープン部門 10:05

8-3 スタート信号

・規則 L5. 4 スタートライン旗「本部船準備完了」及び「“予告信号まもなく”を艇に告知」するため、a)部門スタートの約10分前までにオレンジ旗掲揚と音響信号1声を発する。

・スタート信号は、次のa) 及び b)の2段階に分けて発せられる。

・レースはRRS・26に従ってスタートする。

a) ORC-C部門、IRC部門、J-24部門

- ・約10分前 : オレンジ旗(スタートライン旗)掲揚と音響信号1声
- ・5分前/予告信号 : 部門識別旗(イエロー・ホワイート・グリーン)掲揚と音響信号1声
- ・4分前/準備信号 : P旗・I旗・Z旗・黒色旗のいずれかの掲揚と音響信号1声
- ・1分前 : P旗・I旗・Z旗・黒色旗のいずれかの降下と音響信号長音1声
- ・スタート : 部門旗 降下と音響信号1声

b) オープン部門

オープン部門スタートはORC-C部門、IRC部門、J-24部門のスタート終了後行う。

- ・5分前/予告信号 : 部門識別旗(ピンク)掲揚と音響信号1声
- ・4分前/準備信号 : P旗・I旗・Z旗・黒色旗のいずれかの掲揚と音響信号1声
- ・1分前 : P旗・I旗・Z旗・黒色旗のいずれかの降下と音響信号長音1声
- ・スタート : 部門旗 降下と音響信号1声

8-4 スタート・ラインは、スターボード・エンドとなる本部艇の外洋三崎大クラブ旗を掲げた本部船のポール(マスト)と、ポート・エンドとなる黄色円柱型ブイを結ぶ見通しラインとする。

8-5 当該部門のスタート信号後10分以内にスタートしなかった艇は、DNSとする。

(RRS・A5 変更)

なお、スタートラインはスタート後10分後に解消される。

8-6 レース中でない部門の艇は、レース中の艇を避けなければならない。

予告信号が発せられた場合、当該部門以外の艇はスタート・ライン付近に近づいてはならない。(RRS・24. 1への追加)

9. 個別リコール

リコール艇があった場合、RRS・29. 1により音響 1 声とともに X 旗を掲揚する。

X 旗はリコール艇が完全に復帰したら降下する。

ただし、スタート信号後 4 分を経過したら、リコール艇が復帰しなくても X 旗を降下する。

10. ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合、RRS・29. 2により音響 2 声とともに第一代表旗を掲揚する。

新しいスタートの予告信号は、第一代表旗降下(音響信号 1 声)の 1 分後に発せられる。

11. フィニッシュ・ライン

フィニッシュ・ラインは、スターボード・エンドとなる青色旗を掲揚した本部艇の

外洋三崎大クラブ旗を掲げた本部船のポール(マスト)と、ポート・エンドとなる黄色円柱型ブイを結ぶ見通しラインとする。

12. コース短縮

12-1 スタート後にコースを短縮する場合は、先頭艇がまさに回航しようとするマーク付近にいる運営艇に S 旗が掲揚され、音響信号 2 声が発せられる。

この場合、青色旗及び JSAF 外洋三崎バージを掲げた当該運営艇の S 旗を掲げたポールと当該マークとの見通しラインをフィニッシュ・ラインとする。

12-2 一部の部門のみコース短縮する場合には、当該部門識別旗と S 旗が掲揚され、音響信号 2 声が発せられる。

この場合、青色旗及び JSAF 外洋三崎バージを掲げた当該運営艇の S 旗を掲げたポールと当該マークとの見通しラインをフィニッシュ・ラインとする。

13. タイム・リミット

8月31日(日)15:00までにフィニッシュできなかった艇は DNF とする。

(RRS・35、A4、A5変更)

14. レースの成立

各部門のトップ艇のタイム・リミット内でのフィニッシュをもって成立する。

15. 失格に代わる罰則

RRS第2章以外の規則違反については、プロテスト委員会は、失格に代わる罰則として、所要時間に2%以上のタイムペナルティーを課することができる。

16. 抗議

抗議は、RRS・61に従って自身の抗議の意思を当該相手艇に対して、「プロテスト(抗議)」と声を掛け、目立つ様に赤色旗を掲揚すると共に、フィニッシュ時にその抗議の意思と相手艇名をフィニッシュ担当の運営艇に告げ、自艇フィニッシュ後90分以内に所定の抗議書により、レース委員会(陸上本部)に提出しなければならない。

審問開始の時間、場所については公式掲示板に掲示される。

17. 順位及び時間修正システム

17-1 ORC-C部門

艇の所要時間に Time-on-Time offshore 係数を所要時間にかけて、その修正時間が低い艇を上位とする。

修正時間が同一の場合には、Time-on-Time offshore の小さい方の艇を上位とする。

17-2 IRC部門

IRCルール2014に基づき、TCCの係数を所要時間にかけて、その修正時間が低い艇を上位とする。

修正時間が同一の場合には、TCCの小さい方の艇を上位とする。

17-3 J-24部門

フィニッシュの着順を以って成績とする。

17-4 オープン部門

レース委員会が設定したレーティング方法により順位を算出する。

修正時間が同一の場合には、レーティングの低い方を上位とする。

18. レースの中止

悪天候などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レース前日の18:00迄にレース委員会が判断する。その通知は公式掲示板および外洋三崎ホームページに告知する。悪天候予想の際は外洋三崎ホームページにて開催の有無を確認することを推奨する。

(JSAF 外洋三崎ホームページ: <http://www.jsaf.or.jp/misaki/>)

19. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は8月31日(日)08:00までに公式掲示板に掲示する。08:00以降に行なわれる帆走指示書の変更については、海面でのチェックイン時に口頭などの方法により通知する。

20. 出艇申告、帰着申告

- 20-1 出艇申告は艇長会議受付時に行う。
- 20-2 乗員の変更はレース当日の08:00までに書面にてレース本部に提出の事(FAX可)。
- 20-3 帰着申告はフィニッシュを持って帰着申告とする。
- 20-4 出艇しない艇、フィニッシュしなかった艇は、必ず艇の責任者が直接レース本部に速やかに連絡すること。第三者への伝言委託をしないこと。
連絡が無い場合には、レース委員会から海上保安庁に救助要請をすることがある。

21. 運営艇

本部船は外洋三崎大クラブ旗、その他運営艇は外洋三崎バージを掲揚する。

本部船 : 「ノースレディ」 27フィート モータークルーザー 船体色: グレー

運営艇 : ①「きかんぼう」 オセアニス36 船体色: ホワイト(マーク回航チェック)

②「アオレレ」 ヤマハ34ケッチ 船体色: ブルー(マーク回航チェック)

③「月光X」 インフレータブル

④「プリンセス」 インフレータブル

22. 賞

表彰の対象は下記の成績の艇とする。

- ・ORC-C部門 : ファーストホーム賞
総合優勝
各クラス 優勝、2位、3位
- ・IRC部門 : ファーストホーム賞
総合優勝
各クラス 優勝、2位、3位
- ・J-24部門 : 優勝、2位、3位
- ・オープン部門 : ファーストホーム賞
総合優勝
各クラス 優勝、2位、3位
- ・特別賞

23. レース本部及び公式掲示板

レース本部（公式掲示板）

所在地：8月30日(土) 15:00～8月31日(日) 10:00
油壺ベイヨットクラブ(ABYC):三崎マリン正面玄関向かい
8月31日(日) 10:00～20:00
三崎フィッシャリーナ・ウオーフ「うらり」2F研修室
連絡先 電話：090-2217-1646
8月30日(土) 15:00～22:00
8月31日(日) 07:00～20:00
FAX：050-3737-2919
8月30日(土) 15:00～8月31日(日) 08:30

24. その他

表彰式とパーティー

日時：2014年8月31日(日) 17:00 開宴（開場16:30）

会場：三崎フィッシャリーナ・ウオーフ「うらり」2F

（三崎港:うらりホームページ:<http://www.umigyoko.jp/11.html>）

パーティー費：前売りパーティー券 1,000円/名

会場売りパーティー券 1,500円/名

小学生以下無料

駐車場：パーティー会場となる三崎フィッシャリーナ・ウオーフ「うらり」隣接の
駐車場を用意。（100円/台）

運転者の飲酒は禁止。

※レース中止の場合もパーティーは予定通り行う。

25. レース委員会

レース委員長 山田 茂雄

副委員長 古川 肇

近藤 等

—以上—